

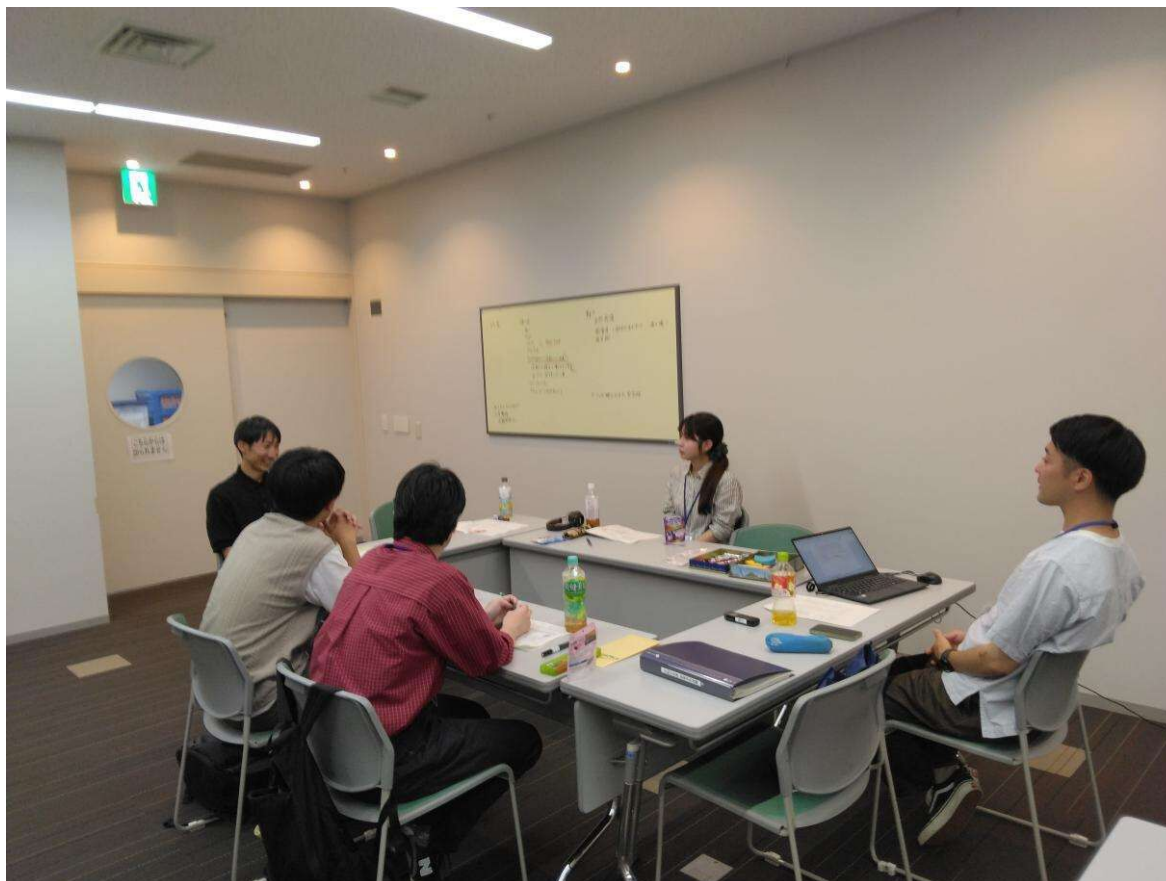
かつしか若者未来会議 第1回会議 議事録

1 概要

日 時：令和8年5月17日（日） 10：00から12：00

場 所：葛飾区立中央図書館 会議室2

参加者：7名（若者未来会議メンバー：3名／区職員：4名）



2 会議内容

- (1) 開会
- (2) 挨拶（すぐやる課長）
- (3) 若者未来会議の進め方の説明
- (4) 自己紹介
- (5) 話合い
- (6) 次回開催予定
- (7) 閉会

3 会議録

(1) 開会【省略】

(2) 挨拶【省略】

(3) 若者未来会議の進め方の説明【省略】

(4) 自己紹介【省略】

(5) 話し合い

かつしか若者未来会議第3期での初めての会議。応募時に記入した各自のやりたいことを発表しながら、企画を検討していく。以下、会議内容。

※「・」は若者が発言したもの。(区)は区側が発言したもの。

・高校で社会発展、地域参加の授業があった。コンテストとかで商店街をより良くするためにはどういうアプリがあるのかの研究をしていた。

・葛飾のアイデンティティーを大切にしている。地域活性化のための図書館に興味がある。大学の時に企業とマーケティングの授業をしていて、一からニーズを考えて企画するのが好き。みんなのやりたいことをやりたい。

・商店街。亀有とか帝釈天とか。江東区が商店街多い。地域の課題を解決するコンテストがあった。その時に、アプリを作るためにいろいろ調べていて、やろうとしていたのが食べログ。そのお店の美味しいと評価されているものに特化したものを作ろうとしていた(例えば、コロッケに限定した食べログ)。商店街の分布。周辺に何歳の方がいるか等。

・「R」という統計分析フリーソフトがある。

・なぜ、今回「葛飾の魅力発信」なのか。まず、区でやっている、魅力発信を知りたい。

(区) 区の広報なので全世帯を対象にしなければならない。広報誌を全世帯に配布している。月3回区の情報届けている。また、公式HP。内容は役所側で作っている。最近取り組んでいるのはSNS。若い世帯向けにX、Facebook、LINE。自分が欲しい情報を設定できるようなもの。TikTokを始めており、若い人をターゲットにして葛飾の魅力をショート動画で配信している。インスタを今年始めようかなと。いろんな手段をやって、いろんな世帯に見てもらえるような努力をしている。

・若者未来会議の Instagram のアカウントを作りたい。第 1 期が作成した「かつしかデザインラボ」のものを「かつしか若者未来会議」のアカウントへ変更して使う。月一回くらい更新する？

・ X、Facebook、Instagram のアカウントを作って情報を発信していく。発信の中で活動の様子等も発信していきたい。

・ Threads (スレズ)。若い人たちが使っている (20 代が多いと思う)。自然好きな人が多いと思う。Threads (スレズ) のアカウントも作るのはいかがでしょうか。菖蒲園、水元公園とか。例えば、その場にいた猫など、その時出会って見られたものに惹かれると思う。

・「プリンマップ」のようなものを作るのはいかがでしょうか。かつしかマップを使って。共通感が刺さると思う。

・飲食店に関して。自分はビールが好き。葛飾限定のお酒を造っているところがある。そこにあるものを発信したい。お酒を飲んでわいわいする雰囲気が好きなので、その様子を発信したい。お酒離れしている人が多いが、そういう場があるんだよと発信していきたい。

・金町でクラフトビールを作っている。「金町ゴールデンラガー」。

・今回の活動の中で、SNS は付随的に活用するとして、メインを何にするかを話していきたい。

・ SNS は恒常的にやっていく。

・葛飾区がどういう姿であるといいなというものがあれば。3 人のビジョンがあれば聞きたい。基盤が整っているほうがいい。この活動によって、こうなればいいのか。

・ 2 つあると思う。どうあるべき、葛飾区がこうあってほしい。こういうこと足りないとか。それはそれで課題として据えておく。あともう 1 つは、ここのメンバー 3 人の目的があってもいいかなと思う。

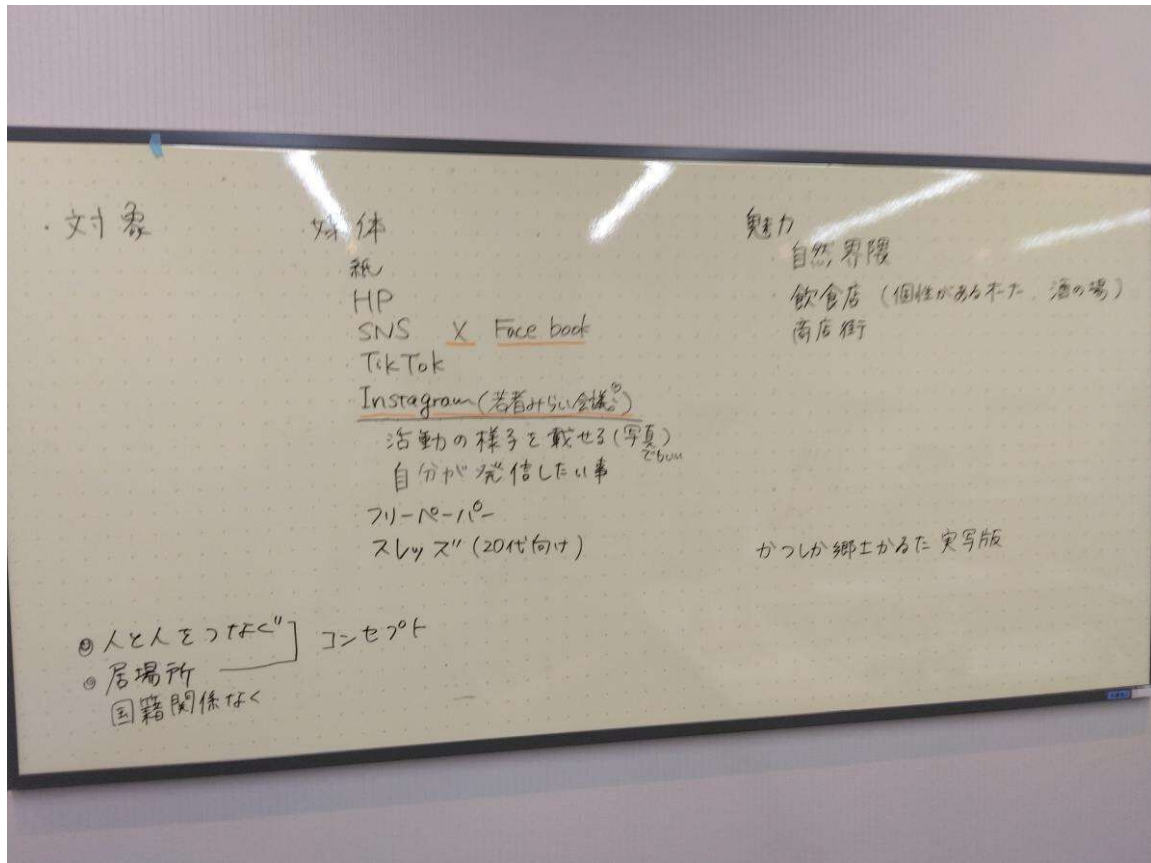
・学童を好きでやっていて地域密着している。神輿担いだり、駄菓子屋をやっていたりとか。感情図書館というものがあり、悲しい時にこの本読んだら楽しくなったりする。地域が好き。どこでも遊んでいたような昔の葛飾区を取り戻したい。今なくなっている、温かみがほしい。やさしさが無下にされているのが悲しい。SNS でやりたいものとして、1 個のお店にフォーカスした動画を他のお店に渡す。そうするともら

った側が、このお店こういうことやっていたんだ、と知ることができ繋がりが生まれると思う。

- ・柴又をよく知っている。すでに知っている近所の人同士が繋がっていて、すでにそういう状況が生まれている。ただ、一般の人はそういうこと知らない。
- ・お店に行くときにこの人がいるなら行きたい、という理由で行くことが多い。知っている人がいるなら行きたい。
- ・自分は実家が区内だが、引っ越してきた人（この地域のことを知らないたち）などが行きつけのお店を見つけられるといいと思う。第二の故郷のような。
- ・発信は第1回目の会議の様子を発信しよう。あと、郷土かるたを実写版したものを作るのはどうかな。ちなみに第一期と第二期の時は、どこをターゲットにイベントを企画したのか。
- ・第一期の時は、区の事業は、小中学生向け、高齢者向けはあるが、若者が対象ってないよねというので若者を対象にした。狙いを高校、大学。
- ・第二期の時は、小中学生向けにした。子どもだけでなく、その親御さんが来てくれるのも狙いだった。
- ・もし何かするなら同級生を集めるのがいいと思う。その場合、同世代が喜ぶコンテンツを用意しておく。
- ・みんなでかるたを作るイベントをするのはどうかな。みんなで同じものをつくる、共同作業の感じがいいなと思う。
- ・次回、ワークショップの案を持ってくる。軸を決めたい。最後に何がしたいか。かるた、魅力発信の流れで何をやりたいか。

・まとめ

- ①X、Facebook、Instagram、Threads（スレズ）のアカウントを作成する（区で作成次第、メンバーが発信できるようにアカウントを共有する）。
- ②コンセプトを「人と人をつなぐ」「居場所（国籍関係なく）」として進めていく。
- ③発信する魅力を「自然界隈」「飲食店（個性があるオーナー、酒の場）」「商店街」とする。
- ④「かつしか郷土かるた」の実写版を検討していく。



(6) 次回開催予定

令和8年6月7日(日) @カナマチぷらっと 第2集会室

欠席やオンライン参加の際は、すぐやる課へ事前にLINEで連絡してください。

(7) 閉会【省略】